

山形物流ネットワーク協同組合 創立20周年記念式典開催



佐藤理事長

7月5日(金)山形市「ホテルメトロポリタン山形」において、山形物流ネットワーク協同組合(佐藤侑功理事長:組合員9社)は創立20周年記念式典を開催し、全国から関係者50名余りが出席した。

はじめに佐藤理事長が挨拶し、百瀬恵夫明治大教授の著作に触れながら協同組合の理念を強調。相互扶助の精神を基礎として組合員が切磋琢磨し、物流を通じて社会貢献していきたい、と述べた。続いて、本会の齋藤豊副会長や日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会の加藤浩幸会長ら

の祝辞に続き、功労者表彰が行われ、本会、当組合や商工中金から表彰状が授与された。

後半では「組合20年の歩み」がスクリーンに映し出され、平成元年に施行された物流2法(貨物自動車運送事業法・貨物利用運送事業法)による競争激化と規制強化による危機感が組合設立のきっかけとなったことを紹介。これまで取り組んできた各種事業や現在の組織体制などが説明され、出席者は20年の歴史を感慨深く見入っていた。

引き続き記念パーティーが催され、全国各地から参会した関係者らは先人の苦労話や今後の展望に話を弾ませていた。



トータル・ジョブサポート山形開所

7月1日(月)から山形テルサ(山形市)1階のハローワークプラザやまがた内において、山形県若者就職支援センター及び山形県求職者総合支援センターにハローワークの職業紹介機能を付加した相談窓口「山形県・ハローワーク共同就職支援センター山形(愛称:トータル・ジョブサポート山形)」が開設された。

これは、山形県と山形労働局が昨年11月から、地域住民の利便性の向上と就職支援の充実を図るため、県と国の一体的な施設の設置について準備を進めてきたもので、45歳未満の若年者や生活貧窮者、震災による県内への避難者を対象に、両センターが共同して就職を支援する。こうした窓口の開設は県内では初めてで、12月には酒田市にも開所する予定。

当日は、同所前で開所式が行われ、村山地方の自治体や商工関係団体などから関係者約20名が出席。細谷知行副知事と労働局の須永敏良局長が看板を除幕した。



【場 所】 ハローワークプラザやまがた内(山形駅西側 山形テルサ1階)

【時 間】 月~金曜9:30~18:00 土曜10:00~17:00(日曜・祝日は休み)

詳しくはお問い合わせください。TEL.023-608-2037